

「観光振興課（観光協会提供）」

○2月観光情報

【栗田美術館特集陳列 伊萬里焼の変遷と銘】

銘とは主に茶道具を中心に形成された概念で、工芸品につけられた愛称や通称、商標などのことです。陶磁器に製作者や窯、製作者や商標などを記した銘款も一般的に銘と称されます。今回の特集では、伊萬里焼の大まかな変遷に併せて銘もご鑑賞いただきます。

前期からの引き続きの展示ですが、一部作品の入れ替えを行います。

日 時:9月18日(土)～2022年2月27日(日)まで

当面の間、時間短縮で開館しますので詳細につきましてはお問い合わせください。

午前10時～午後4時30分（最終入場は午後4時まで）

休館日:月曜日(祝日の場合翌日)、年末年始(12月27日～1月2日)

場 所:栗田美術館(駒場町)

入館料:一般1,250円(1,000円)、小・中・高500円(400円)（ ）内は20名以上の団体料金

交 通:JR両毛線あしかがフラワーパーク駅より徒歩で約10分

JR両毛線足利駅より車で約15分

東武伊勢崎線足利市駅より車で約20分

北関東自動車道足利ICより約20分

東北自動車道佐野藤岡ICより約15分

問合せ先:栗田美術館 ☎0284-91-1026

【光の花の庭 フラワーファンタジー2021】

関東最大級500万球のイルミネーションに彩られた幻想の世界。

夜景鑑賞士が選ぶイルミネーションランキングでは6年連続で全国1位に輝きました。

100,000㎡の園内に500万球を超えるイルミネーションが瞬き、訪れる方々に毎年心温まる感動を与えています。

「光のバラ園」や「光の睡蓮」がパーク内を華やかに彩り、「光と花に彩られた幻想的なお城・フラワーキャッスル」もその鮮やかかつ繊細な光で訪れた人たちに大きな感動を与えます。神秘的な大藤棚も花びら一枚一枚をイルミネーションで再現しており、その美しさに、期間中は連日SNS等への写真の投稿が相次ぎます。

今年、光の魔法でフラワーキャッスル全面リニューアル致します。

また、市制100周年とあしかがフラワーパークイルミネーション20周年のコラボ企画「光の花手水」が好評の為、期間を延長してご覧いただけることになりました。ぜひご覧ください。

日 時:10月16日(土)～2022年2月14日(月)

(平日)午後3時30分～午後8時30分

(土・日・祝)午後3時30分～午後9時

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町)

料 金:(夜間料金) 大人1,100円、小人600円

交 通:JR両毛線あしかがフラワーパーク駅より徒歩で3分

「観光振興課（観光協会提供）」

JR両毛線富田駅より徒歩で約13分

東武伊勢崎線足利市駅より車で約30分

(例年、土日祝日はシャトルバスが運行される予定ですが、現在は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため当面の間シャトルバスの運行は休止となっております。)

北関東自動車道足利ICより約15分

東北自動車道佐野藤岡ICより約18分

【節分鎧年越】(開催予定)

足利に春を呼ぶ伝統行事「鎧年越」が2月3日節分の夜に行われ、坂東武者に扮した市民200人余りが参加する行列が勇壮に繰り広げられます。市長扮する主将を中心に鎧・冑かぶとに身を固めた坂東武者が、法螺貝・陣太鼓を鳴らしながら歴史絵巻さながらに大通りを行進し、織姫公民館から鑢阿寺ぼんなじまでの約1.3キロメートルを1時間ほどかけて練り歩きます。

足利氏宅跡の鑢阿寺ぼんなじに到着すると、市長が足利氏代々の供養と市の繁栄を祈願し「願文がんもん」を奉読します。本堂で武者たちが追儼式ついなしき(豆まき)を行った後、本堂裏手に移動して「エイ、エイ、オー」と勇ましく勝どきを上げます。

「鎧年越」は、約750年前の鎌倉時代中期、足利義兼の孫・泰氏(源姓足利氏4代目)が一族の結束と勢力を誇示するため、坂東武者500騎を鑢阿寺南大門に勢揃いさせたという故事にちなんだ古式ゆかしい行事です。

1915年(大正4年)織維業者を中心に復活し、足利を代表する伝統行事として100年以上受け継がれています。

現在開催の予定ですが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては規模の縮小や中止とさせていただくこともございます。

なお、本年の御出陣受付は、足利市にお住まいの方、足利市内に通勤・通学されている方に限定させていただいております。

日 時:2月3日(木) 午後6時30分～ (毎年同日開催)

場 所:織姫公民館(通6丁目)～鑢阿寺(家富町2220)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約15分

JR両毛線足利駅より徒歩で約15分

北関東自動車道足利ICより約10分

北関東自動車道太田桐生ICより約15分

問合先:立春会(事務局:鑢阿寺) ☎0284-41-2627

【足利市制100周年記念特別展「戦国武将 足利長尾の武と美—その命脈は永遠に—」】

歴代足利長尾氏が育み、愛し、今に引き継ぐ多彩な芸術文化、そして先人たちの努力により今にいたるまで脈々と足利学校へ受け継がれる学びの文化を紹介します。

日 時:2月11日(金・祝)～3月27日(日)まで

午前10時～午後6時 (入館は午後5時30分まで)

休館日:月曜日(3月21日(月・祝)は開館)、2月24日(木)、3月22日(火)

「観光振興課（観光協会提供）」

場 所:足利市立美術館(通2丁目)

入館料:一般(高校生以上)1,000円 中学生以下・各種障がい者手帳をご提示の方無料

※特別料金のため、各種割引の適用はございません。

※完全予約制の為、ご観覧には事前予約が必要です。予約専用サイトからご希望の観覧日時をご予約ください。

交 通:JR両毛線足利駅より徒歩で約10分

東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約10分

北関東自動車道足利ICより約15分

北関東自動車道太田・桐生ICより約20分

東北自動車道佐野・藤岡ICより約40分

問合せ先:足利市立美術館 ☎0284-43-3131

【あしかが『美』食まつり2022】

足利市内の農家の方々が手塩にかけて育てたJA足利の農産物ブランドである「あしかが美人®」。その中のトマト・アスパラガス・いちごが、旬を迎える時期、市内の飲食店とコラボレーションして珠玉のメニューとなって登場します。

今回もスタンプラリーやInstagramでの投稿を促すための景品抽選など、沢山の方にご参加いただけるよう様々な工夫を凝らしておりますので、ぜひご参加・ご賞味ください。

日 時:2月19日(土)～5月8日(日) 各協賛店舗の営業時間内

場 所:足利市内各店舗(協賛店舗27店舗、31品目)

問合せ先:一般社団法人足利市観光協会(事務局) ☎0284-43-3000

花 情 報

開花時期は、気候等により若干前後する場合がありますので、お問合せのうえお出かけください。

問合せ先:一般社団法人足利市観光協会 ☎0284-43-3000

足利市観光振興課観光コンベンション担当 ☎0284-20-2165

【ろう梅】

香しい匂いたつ蠟梅は、黄色い蠟燭のような花が印象的です。

時 期:1月上旬～3月上旬

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町)、鑿阿寺

【冬ボタン】

冬に咲くボタンは、雪囲いがされ、可愛らしい印象です。雪ん子のようにも見えます。

時 期:1月中旬～2月下旬

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町)

「観光振興課（観光協会提供）」

【寒椿・寒紅梅】

冬の白い空気感をかえてくれる寒紅梅、春への一步を感じさせてくれる可愛い花を楽しんでください。

時 期:1月中旬～2月下旬

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町)

【福寿草】

時 期:1月下旬～3月上旬

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町)

問合先:あしかがフラワーパーク ☎0284-91-4939

【マンサク】

榑崎町塩坂峠付近には、春を告げるためまずさくといわれているマンサクが黄色い花でハイカーの目を楽しませてくれます。

時 期:2月中旬～3月下旬

場 所:塩坂峠付近(榑崎町)ほか

【梅】

☆西溪園(開放未定)

山の斜面3haに約1,200本の梅が咲き乱れ、満開になるとまるで山並に雲がたなびく山水画のような美しい風景が見られます。織姫山の西斜面に位置しているので、足利県立自然公園ハイキングコースから行くこともできます。ハイキング途中に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。近くに駐車場はございませんので、さいこうふれあいセンター(旧西小学校)グラウンド東側駐車場及び、織姫観光駐車場をご利用ください。

時 期:2月下旬～3月中旬

☆栗田美術館

伊萬里・鍋島焼の作品のみならず、庭園、小道の素晴らしさも堪能できる栗田美術館。大手門から入って本館までの通路に咲く梅が素敵です。

時 期:2月下旬～3月上旬

問合先:栗田美術館 ☎0284-91-1026

体 験

【八木節】

日本三大音頭の一つとされている、足利の郷土芸能「八木節」の公演資料をご覧頂いたり、実演を楽しんだりしてみませんか。(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事前にご連絡をお願い致しております。現在、実演は中止しております。)

場 所:八木節会館(福居町580-1)

内 容:八木節の公演等

料 金:足利市八木節連合会へご確認ください

「観光振興課（観光協会提供）」

交通:東武伊勢崎線福居駅より徒歩で約10分

JR両毛線足利駅より車で約15分

北関東自動車道足利ICより約20分

東北自動車道佐野藤岡ICより約20分

問合先:足利市八木節連合会 ☎0284-71-1214